

「勝浦川流域フィールド講座」
“山と海のつながり”から未来を考えるフォーラム

山から海へ

勝浦川のいいところ

大発見!

平成 26 年度から実施している勝浦川流域フィールド講座は、勝浦川流域の景観や人々の川との関わりをとおして“自然と人のつながり”を学び、勝浦川がもたらす恵みを“山と海のつながり”から理解してもらおうものです。自然の不思議やおもしろさを“みて、聴いて、嗅いで、感じて”体感します。本フォーラムでは、昨年の勝浦川流域フィールド講座の取組をご紹介します。また、山と海のつながりの重要性を東北から、そして先進的な環境教育を名古屋から紹介します。さらに、フィールド講座の体験を語ってもらいます。本フォーラムでは、自然と人のつながりや多様な生きものの恵みを楽しむことで私たちの生活が成り立っていることを考えます。

3/19 2016 (sat.)
13時から17時まで

徳島ろうきんホール

徳島市南末広 23-64 番地 中央テクノスクール内
(受付) 12:30~13:00

事例発表 13:40~14:10

「勝浦川流域フィールド講座で学び体験して」

基調講演1 14:20~15:00

宮城のカキは山からの贈り物山から海へのつながり
「森と海のつながりと環境教育について」

講師:NPO法人森は海の恋人副理事長 島山信

基調講演2 15:00~15:40

名古屋市における生物多様性講座の取組み
「名古屋市の市民や青少年に生物多様性をどう伝えたか」

講師:なごや生物多様性センター 坂下昌弘

16:00~16:45

パネルディスカッション

特定非営利活動法人徳島保全生物学研究会 大田直友



この活動は地球環境基金の助成により行っています
主催:特定非営利活動法人徳島保全生物学研究会・生物多様性とくしま会議
共催:徳島県・生物多様性リーダーチーム

お問い合わせ 090-4977-6496 katahiro50@movie.ocn.ne.jp (9時~17時:片山博之)

山から海へ 勝浦川のいいところ 大発見!

畠山 信氏：NPO 法人森は海の恋人副理事長

NPO 法人森は海の恋人は、豊かな自然環境の中で人と自然のつながりを体験的に学習できる環境教育を軸に、森づくり、自然環境保全といった 3 分野の事業を展開する団体として活動しています。環境教育事業では、次世代を担う子ども達のための宿泊型体験学習（『森は海の恋人子どもスクール』）などを実施し、多くの子ども達に自然を感じ、自然を知る機会を提供しています。また、こうした素晴らしい自然環境を未来の子供たちに手渡していくことを目的に、自然環境保全事業として各種の自然環境調査を行い、その結果をもとに自然と共生するまちづくりについて提言を行っています。

坂下 昌弘氏：名古屋市環境局なごや生物多様性センター主査

名古屋市環境局なごや生物多様性センターでは、名古屋の身近な自然や生き物を守り育てるため、緑地やため池等の生き物調査や外来種（カメ・アライグマ等）の防除といった保全活動などに、市民・NPO・専門家と協働で取り組んでいます。なごや生物多様性センターでは、今後も、名古屋の生物多様性の保全に向けて、地域の皆さんと連携・協働して、外来種の防除や講座、イベント等の開催による普及啓発を推進していきます。

開会のあいさつ | 13:00 ~ 13:10 特定非営利活動法人徳島保全生物学研究会理事長 大田直友

趣旨説明及び勝浦川流域フィールド概要 | 13:10 ~ 13:40

勝浦川フィールド講座担当責任者 暮石 洋

事例発表 | 13:40 ~ 14:10 「勝浦川流域フィールド講座で学び体験して」

酒井孟 花城匡俊

——休憩——

基調講演1 | 14:20 ~ 15:00 宮城のカキは山からの贈り物山から海へのつながり
「森と海のつながりと環境教育について」

講師：NPO法人森は海の恋人副理事長 畠山信

基調講演2 | 15:00 ~ 15:40 名古屋市における生物多様性講座の取組み
「名古屋市の市民や青少年に生物多様性をどう伝えたか」

講師：なごや生物多様性センター 坂下昌弘

——休憩——

パネルディスカッション | 16:00 ~ 16:45 コーディネーター

特定非営利活動法人徳島保全生物学研究会 大田直友

テーマ 「生物多様性を社会の主流化とするために人材育成をどうしたらいいと思うか」
「山と海のつながりの大切さを知ってもらう講座の意義」

パネラー
NPO法人 森は海の恋人：畠山信
なごや生物多様性センター：坂下昌弘
生物多様性とくしま会議：稲飯幸代
とくしま生物多様性センター：土井伸一郎
生物多様性リーダー：酒井孟、花城匡俊

閉会の言葉 | 16:50 ~

